

平成16年3月期第3四半期 決算説明会

2004年1月28日

沖電気工業株式会社

<http://www.oki.com/jp>

1. 2004年3月期第3四半期決算
 - 1-1) P/Lの概要
 - 1-2) B/Sの概要
 - 1-3) キャッシュ・フローの状況
2. 2004年3月期 通期業績予想
 - 2-1) 予想P/L
 - 2-2) セグメント情報
 - 2-3) キャッシュ・フローの状況

※本資料における予想、見通し、計画等は、現時点における事業環境に基づくものであり、今後の事業環境の変化により実際の業績が異なる可能性があります。

- 第1～3四半期累計業績は前年同期比大幅改善
- 第3四半期で経常利益黒字化
- 第1～3四半期累計FCFは前年同期比726億円の改善

(金額については億円未満を四捨五入で表記)

	第1～3四半期累計			第3四半期		
	前年同期	今期	差異	前年同期	今期	差異
売上高	3,609	4,283	674	1,102	1,470	368
営業利益	△225	△5	220	△119	33	152
経常利益	△293	△70	223	△136	11	147
当期利益	△212	△115	97	△97	△9	88
株主資本	837	949	112	—	—	—
FCF	△415	311	726	△280	144	424

FCF:フリー・キャッシュ・フロー=営業キャッシュ・フロー+投資キャッシュ・フロー

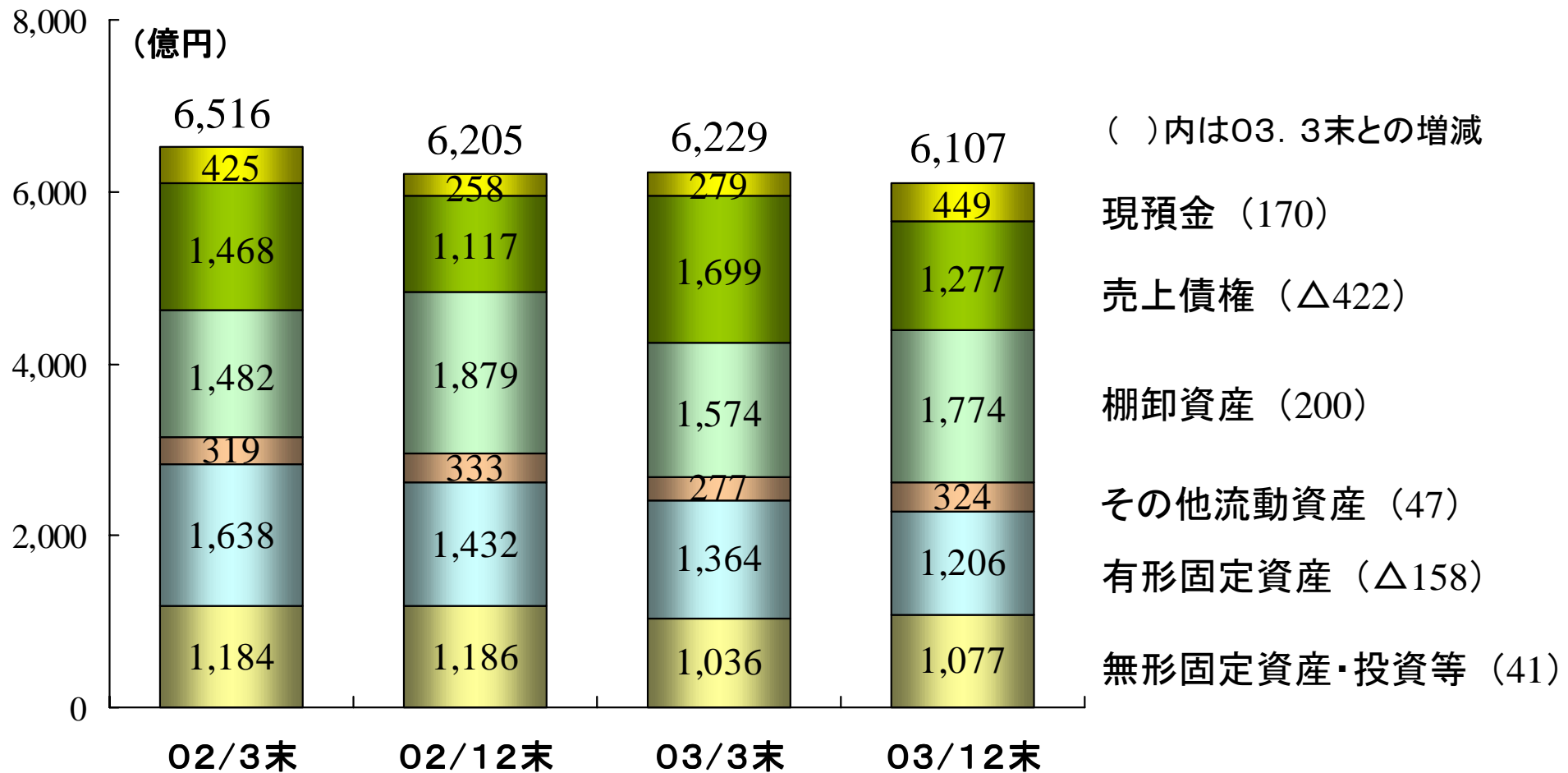
■ 第3四半期 比較連結P/L

(金額単位: 億円)

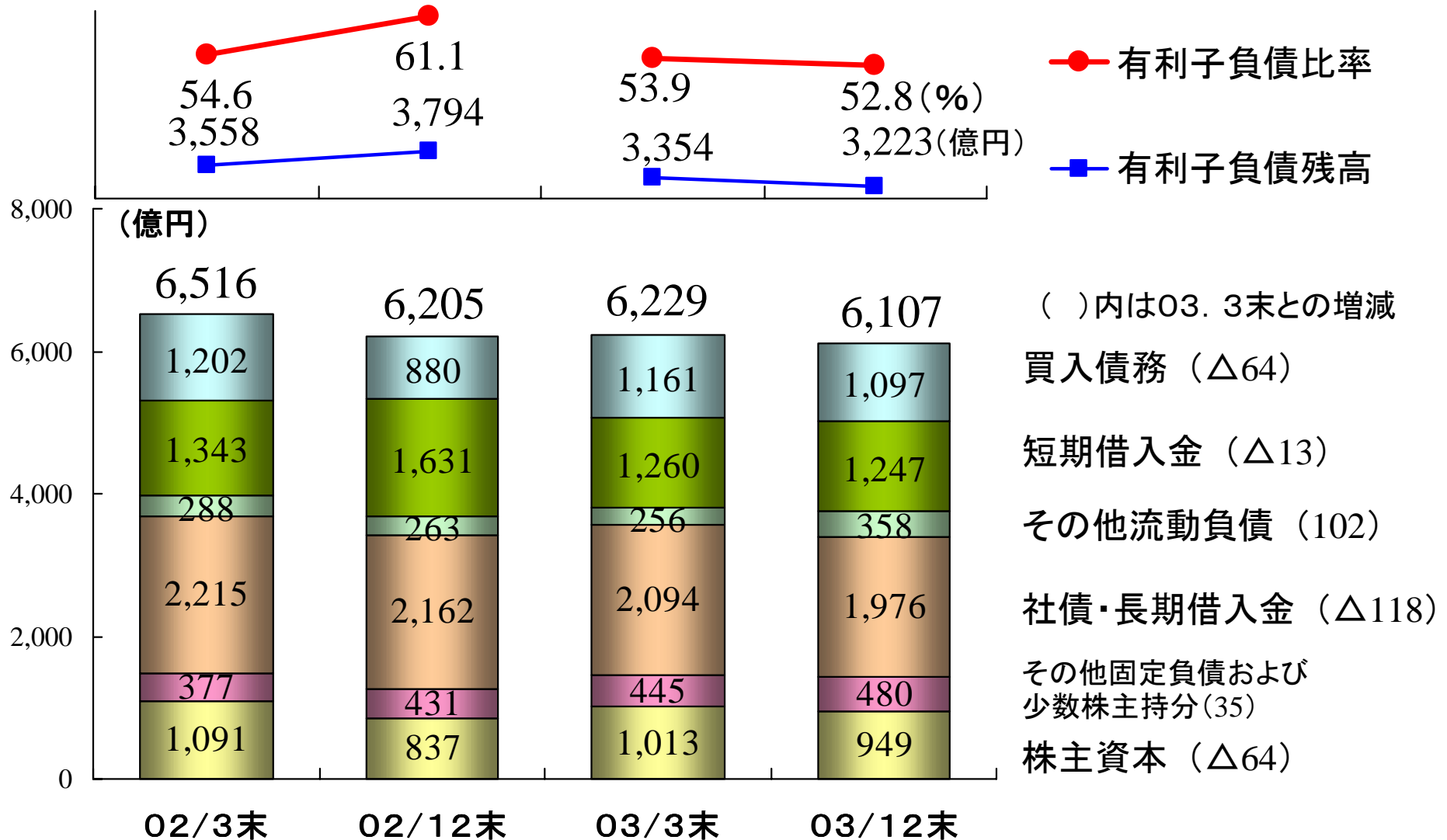
	02年度 1Q~3Q	03年度 1Q~3Q	差異 (増減)	02年度3Q (3ヶ月)	03年度3Q (3ヶ月)
売上高	3,609	4,283	674	1,102	1,470
(売上原価率)	(78.2%)	(75.4%)	(2.8%良化)	(79.6%)	(74.3%)
売上原価	2,821	3,230	409	877	1,092
(販管費比率)	(28.0%)	(24.7%)	(3.3%低下)	(31.2%)	(23.4%)
販管費	1,012	1,059	47	344	344
営業利益	△225	△5	220	△119	33
営業外収支	△69	△65	4	△17	△22
経常利益	△293	△70	223	△136	11
特別利益	8	12	4		3
特別損失	51	104	53	16	30
税引前利益	△337	△163	174	△152	△16
法人税等	△125	△48	77	△55	△6
当期純利益	△212	△115	97	△97	△9

- 売上高は情報を中心に各セグメントとも増加
- 構造改革および売上増加により売上原価率は2.8%改善
- 営業外収支では対ドル円高により為替差損16億(前期は22億の差損)が発生
- 特別損失は、災害損失35億、固定資産処分損23億、特別退職金21億、投資有価証券評価損14億他

- 現預金は03年3月末対比170億円増加
- 売上債権の回収は順調に推移、03年3月末対比422億円減少
- 棚卸資産は第4四半期の生産準備のため増加(200億円)
前年同期比では105億円減少



● 03年4月に普通社債77億円を償還、社債・長短期借入金は131億円減少



注) 短期借入金にCPを含む(その他流動負債から組み替えている)

● フリー・キャッシュ・フローは前年同期比726億円の良化 (金額単位: 億円)

	02年度 1Q~3Q	03年度 1Q~3Q	増 減	備 考
営業キャッシュ・フロー	△325	387	712	
税金等調整前当期純利益	△337	△163	174	
減価償却費	294	252	△42	
運転資金の増減	△286	169	*455	*棚卸195、仕入債務172、 売上債権87
その他	4	*129	125	*退職給付引当金94増加
投資キャッシュ・フロー	△89	△76	13	
設備投資支払額	△159	△145	14	
その他投資活動	70	69	△1	
フリー・キャッシュ・フロー(+)	△415	311	726	
財務キャッシュ・フロー	238	△126	△364	
社債償還	△227	△77	150	4月に77億償還済み
長短借入金等の増減	465	△49	△514	
キャッシュ・フロー計(+ +)	△176	185	361	
現金同等物等の期末残高	273	472	199	

【04年3月期 通期業績予想】

- 売上高は前回公表(03年10月)対比50億円増加の6,500億円、営業利益は15億円増の215億円の見込み
- 年金代行返上により200億円の特別利益が見込めるが、事業再編損、固定資産処分損等による特別損失を計上予定(10ページ参照)
当期利益は対前回見込10億円増の45億円の見込み
- 為替の影響

【平均為替レート】

	下期社内 レート	4Q見込		
		想定レート	外貨建売上 (億通貨)	1円変動に よる損益影響
USDドル	110円/\$	106円/\$	2.0	*
ユーロ	125円/E	130円/E	1.5	*

* 4Qについてはほぼ
為替予約済であり、
為替変動の営業損益
への影響は軽微

- 設備投資は前回公表通りの300億円、研究開発投資も同様の170億円の見込み
- 国内従業員数(非連結関係会社を含む)は12月末現在約17,300名で、既に計画の900名を上回る1,000名を削減済み

■04年3月期 通期比較連結P/L

(金額単位: 億円)

	03年 3月期	04年3月期		対03年 3月期差異
		前回(10/29) 公表	今回見込	
売上高	5,855	6,450	6,500	645
(売上原価率)	(76.1%)		(72.8%)	(3.3%良化)
売上原価	4,457		4,735	278
販管費	1,384		1,550	166
営業利益	14	200	215	201
営業外収支	△92		△90	2
経常利益	△78	110	125	203
特別利益	212		210	△2
特別損失	168		210	42
税引前利益	△35	60	125	160
法人税等	31		80	49
当期純利益	△66	35	45	111

■ 売上高は各セグメントとも増加
(セグメント情報参照)

■ 構造改革および売上増加により売上原価率は3.3%改善

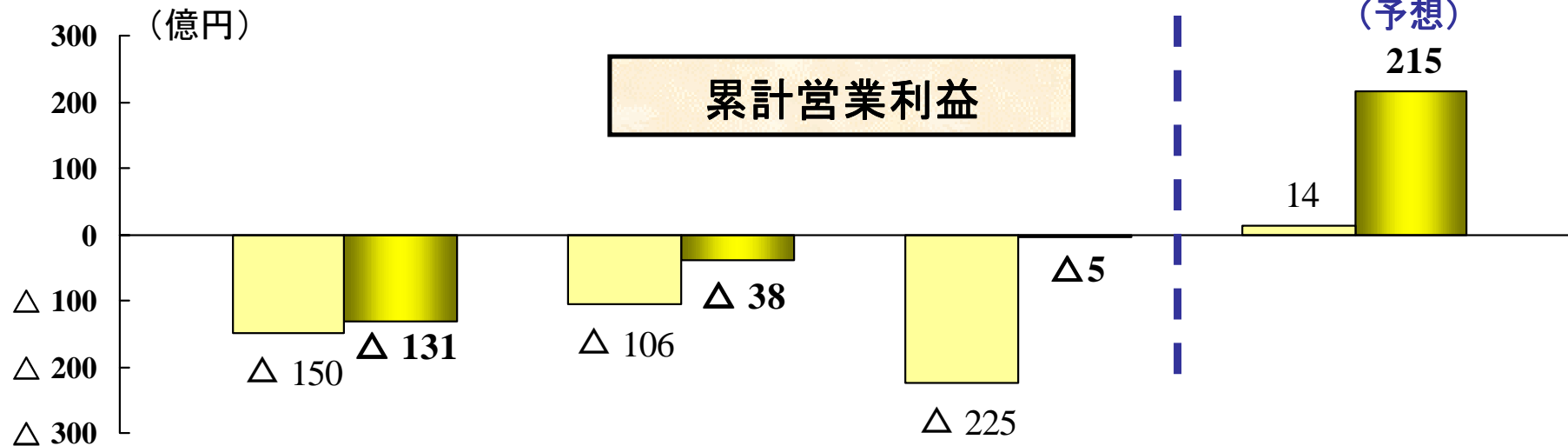
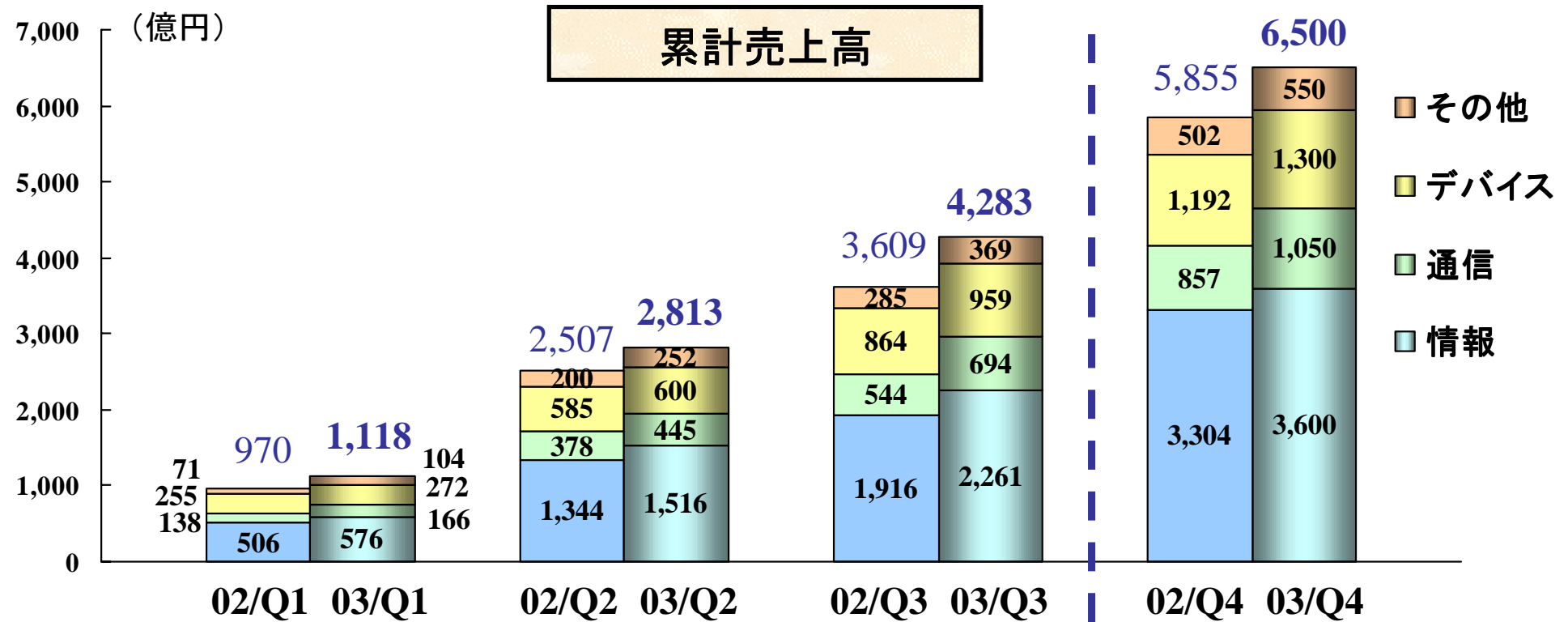
東北地震被害がP/Lに与えた影響

	上期	下期	年間
売上高	△40	△10	△50
営業利益	△25	△5	△30
特別損失	△31	△4	△35

■ 特別損益は次頁参照

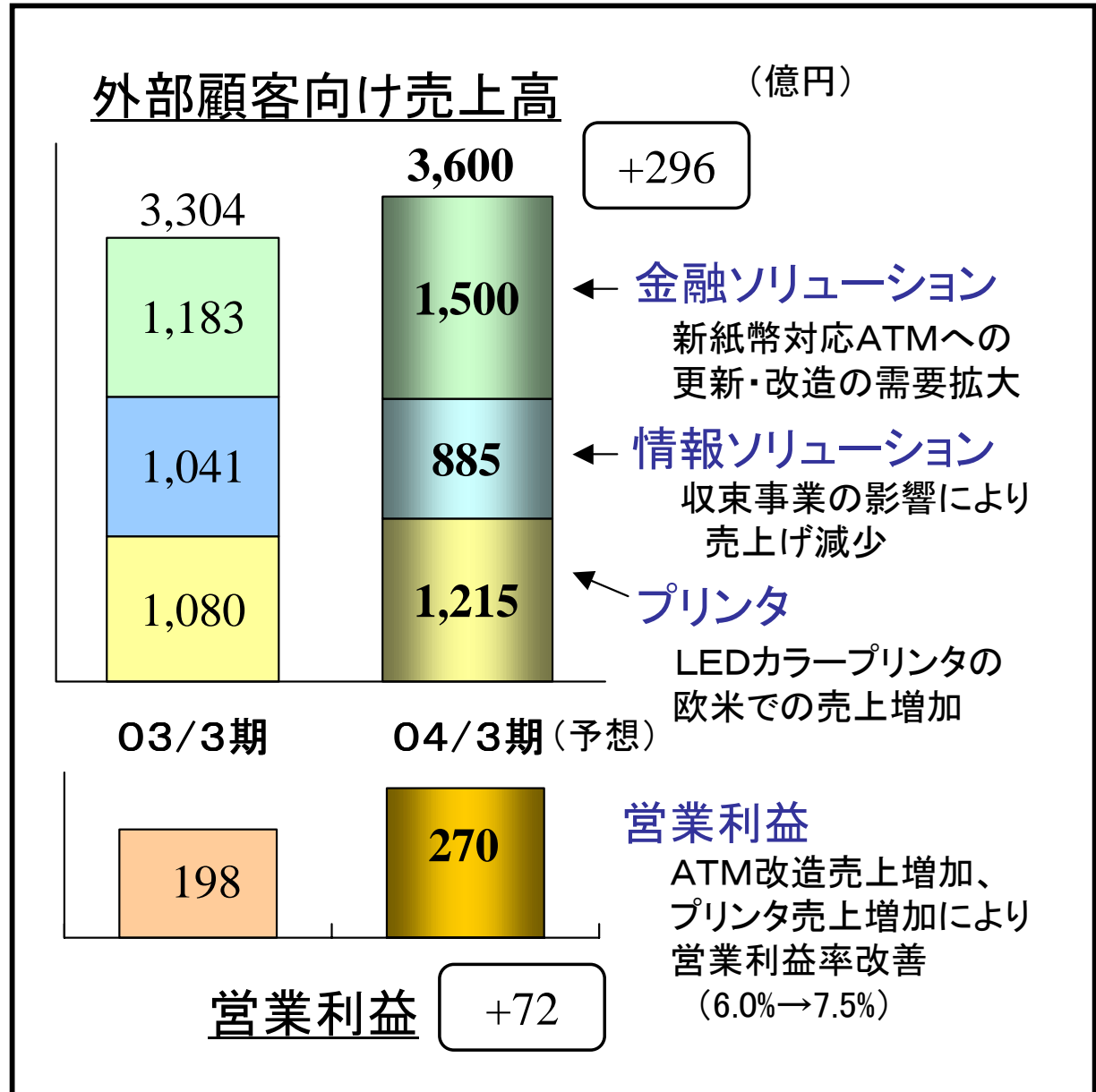
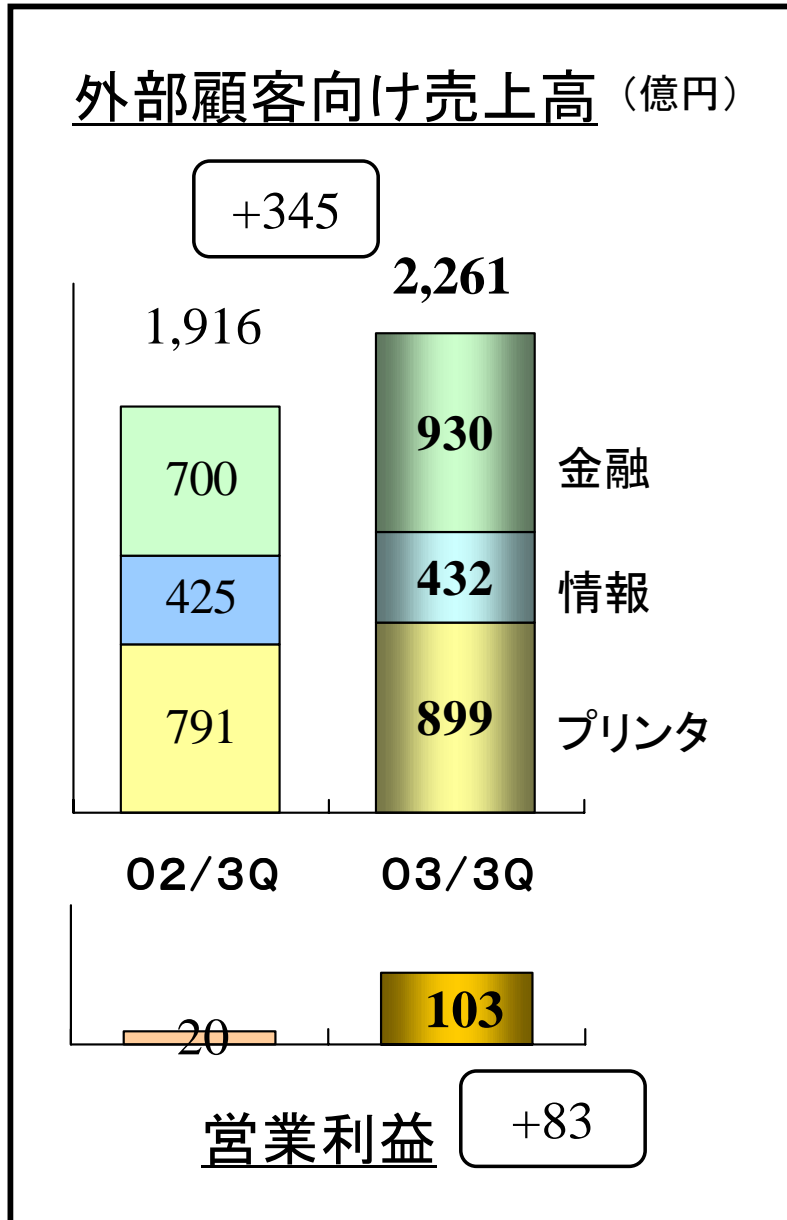
(金額単位:億円)

		前回(10/29) 公表	今回見込	備 考
経 常 利 益		110	125	
特 別 利 益	有価証券売却益等	45	(*1) 10	(*1) 計画を縮小
	年金代行返上益		200	
	計	45	210	
特 別 損 失	固定資産処分損	20	(*2) 50	(*2) 沖ウインテック13 オフィスマップ再編
	投資有価証券評価損	4	(*3) 20	(*3) あしぎんFG11 その他 9
	事業再編損	30	(*4) 75	(*4) 特別退職金35 光コンポーネント事業再編損40
	災害損失	31	35	
	その他	10	(*5) 30	(*5) 賞与に関わる社会保険料等
計		95	210	
税 引 前 利 益		60	125	



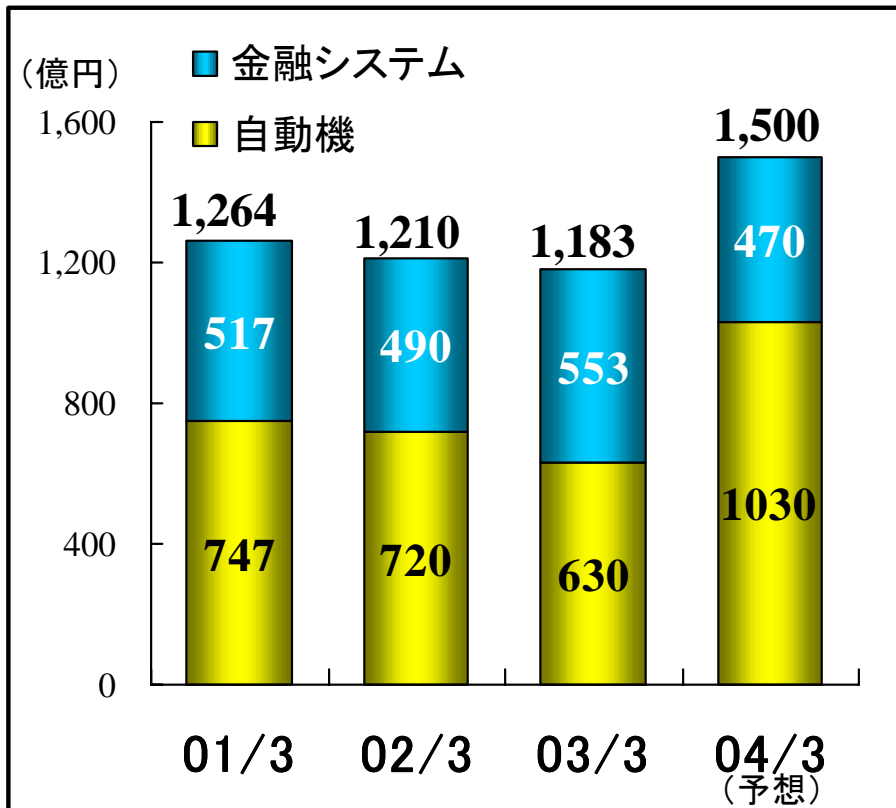
03年度1～3四半期実績

03年度通期予想



- 金融機関の再編に伴う営業店の統廃合により既存システムの需要は頭打ち
- 新紙幣発行(04年秋予定)によるATM等の改造・リプレイス需要が拡大
- 新紙幣対応後、金融機関の投資は事務集中システム・e金融システムへ

金融ソリューション事業売上高



(自動機: ATM、現金処理機、キャッシュ他)

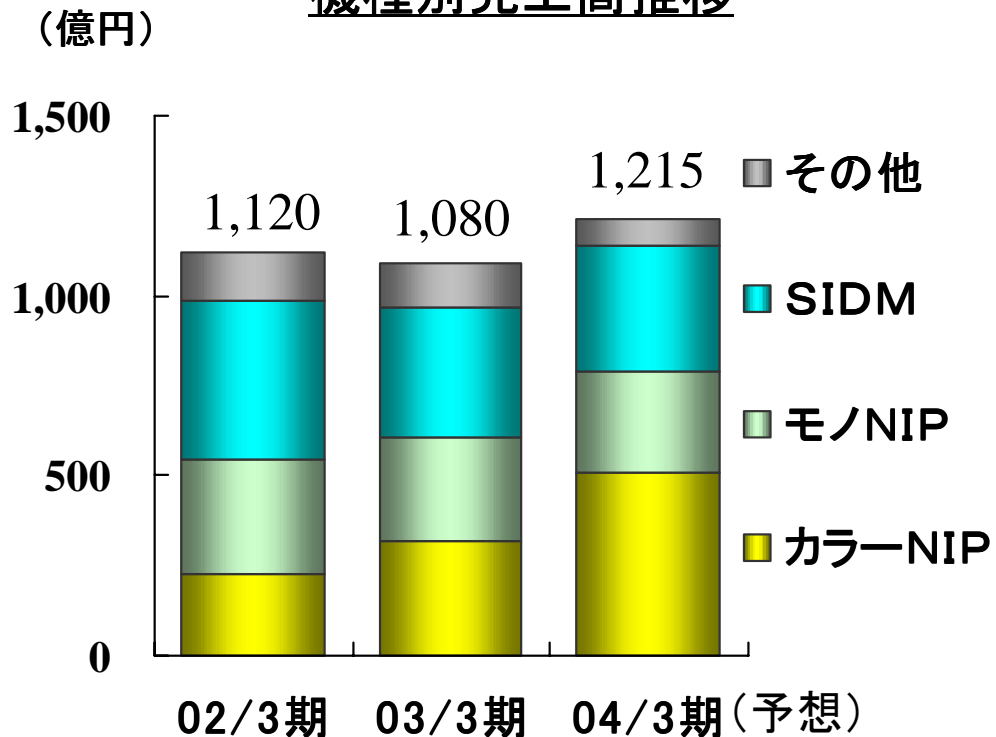
ATMトップシェアの維持・拡大 (国内稼働台数ベース40%)

新紙幣対応需要は04年度上期で一巡
04年度以降の売上減少への対応が課題

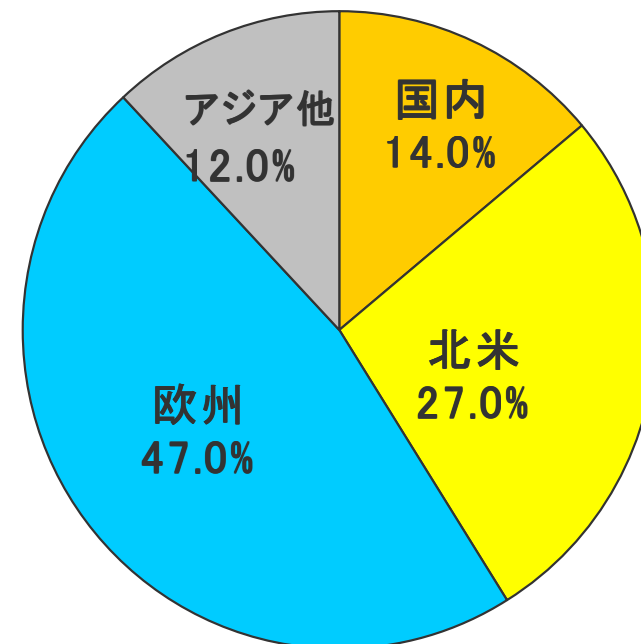
- 事務集中システムの受注促進
- e金融システムへの注力
- 海外市場向けATM事業の展開
- 金融以外の業種向けATM市場の深耕

- LED光源方式による高速カラー印刷の優位性を生かし
欧米のカラーノンインパクトプリンタのマーケットシェア急増
 西欧:02年/10-12月;6位(5%) → 03年/7-9月;4位(11%)
 北米:02年/10-12月;8位(3%) → 03年/7-9月;3位(14%)
- SIDM市場でのシェア拡大

機種別売上高推移

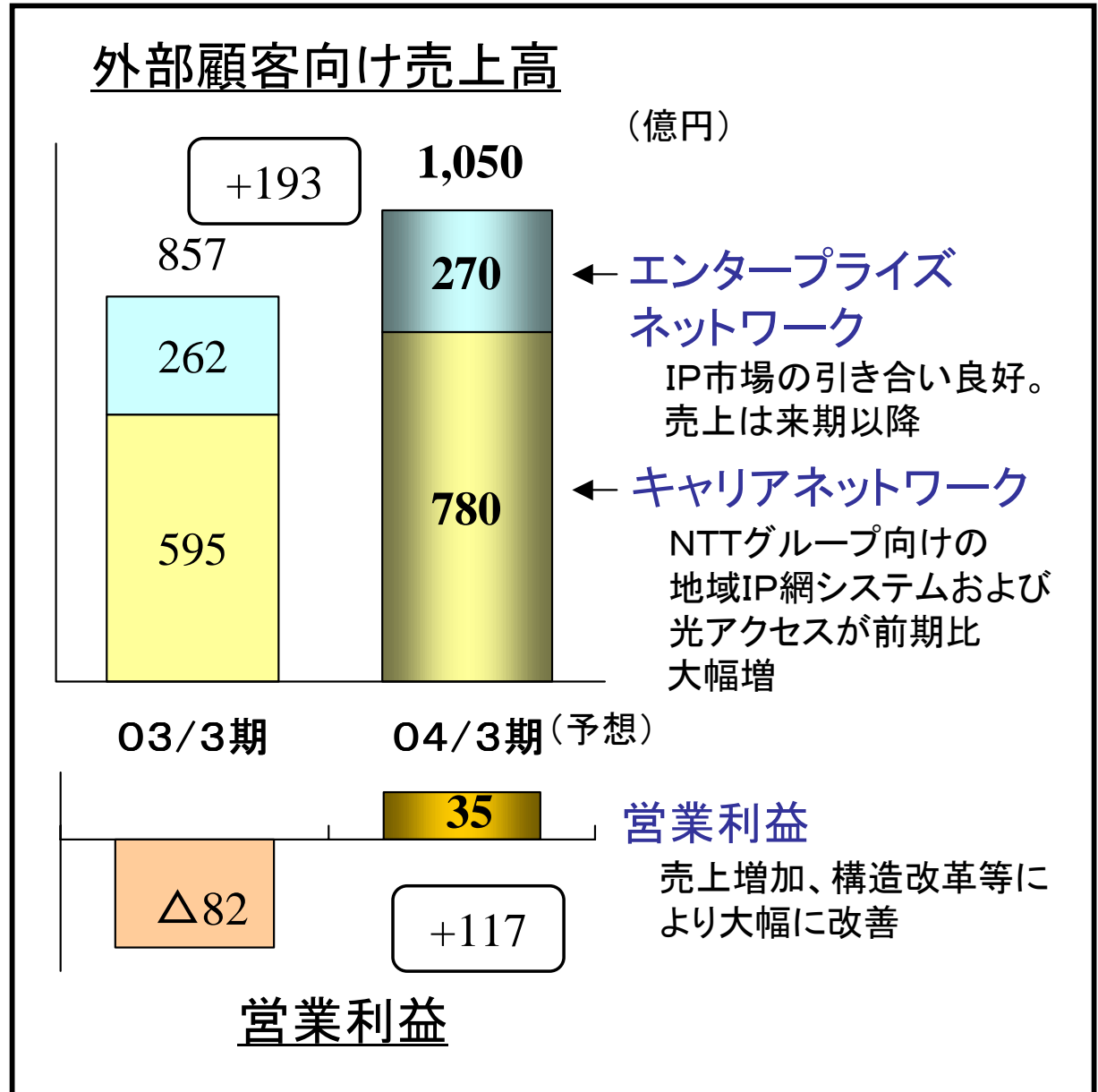
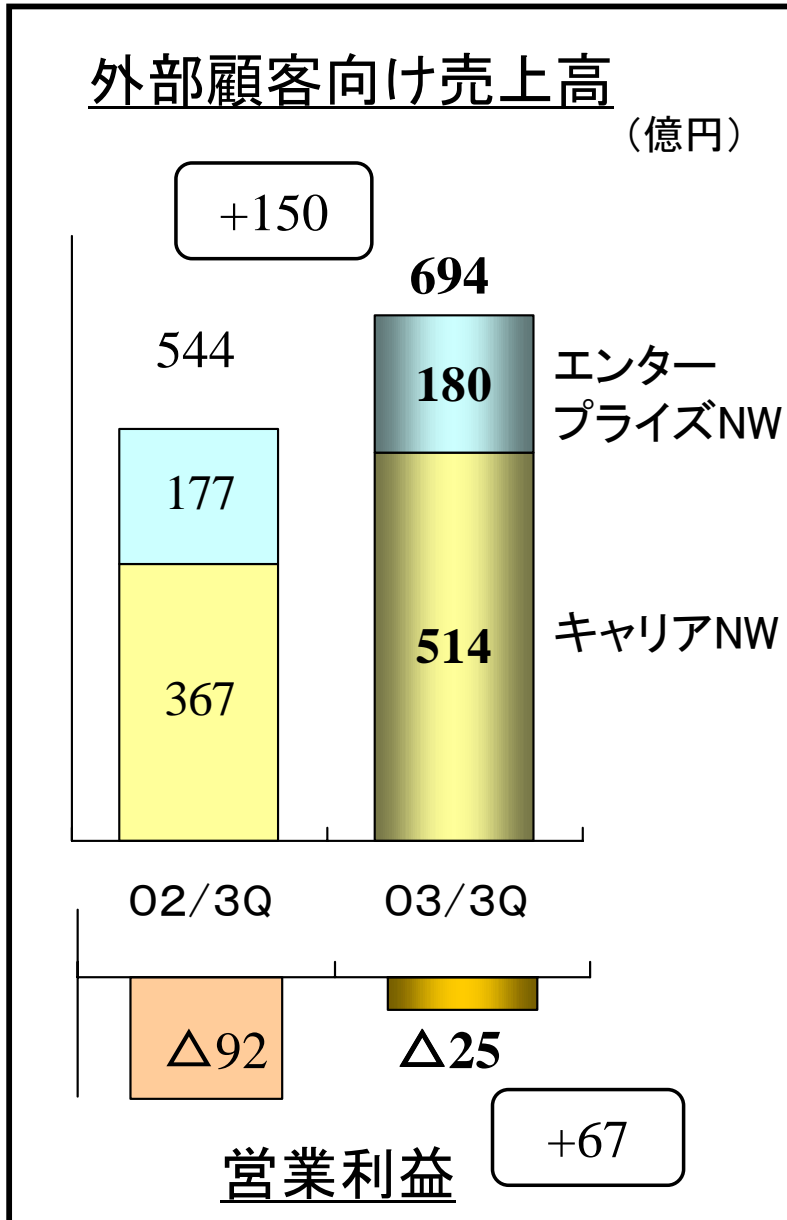


市場別売上高比率
(2004/3期予想)



03年度1～3四半期実績

03年度通期予想



IP電話のインフラ構築で業界をリード

- 最大のIP電話キャリアでの実績
- 企業向けVoIPの国内トップシェア

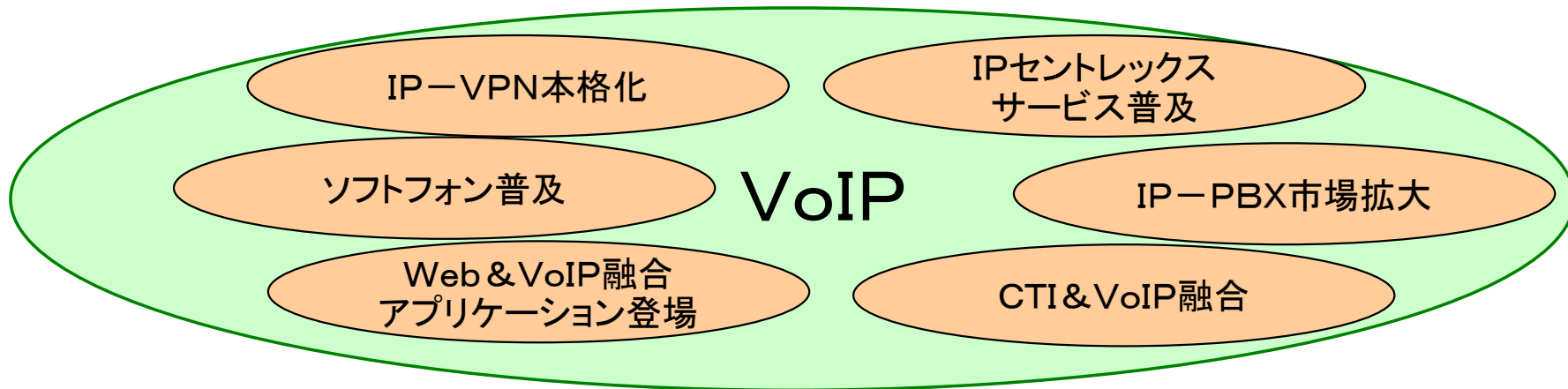
今後、IP電話のインフラ上で展開される
多様なアプリケーションの供給により
収益力を強化— Web・CTI&VoIP融合

2004年度から IP電話の市場が本格的に立上り

- IP電話加入者600万人見込み
- 企業ユーザ利用が拡大、
050サービス03年10月開始(半年遅れ)



VoIPを核とした
多様なサービス・市場が拡大

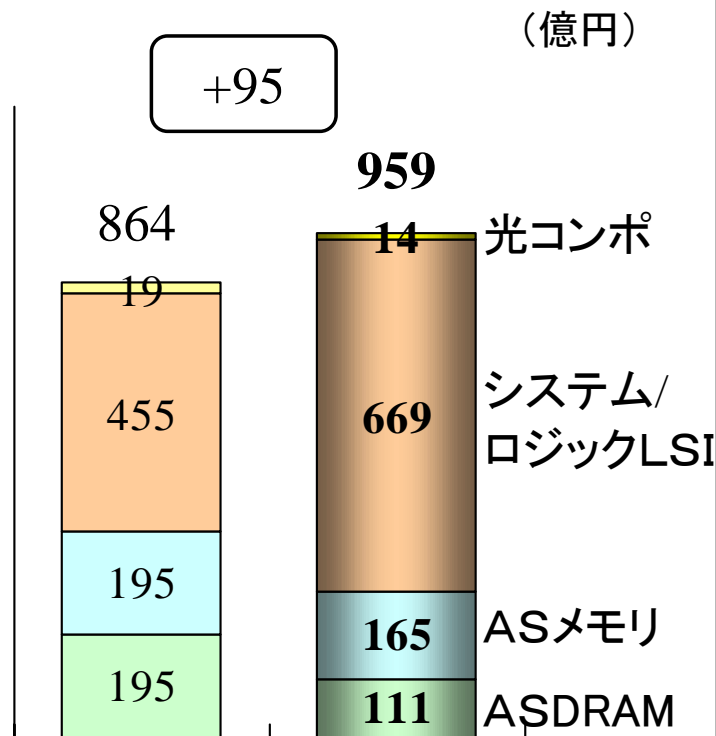


VoIP関連市場は年平均30%成長
2007年度市場規模は9,000億円

03年度1～3四半期実績

03年度通期予想

外部顧客向け売上高



02/3Q 03/3Q

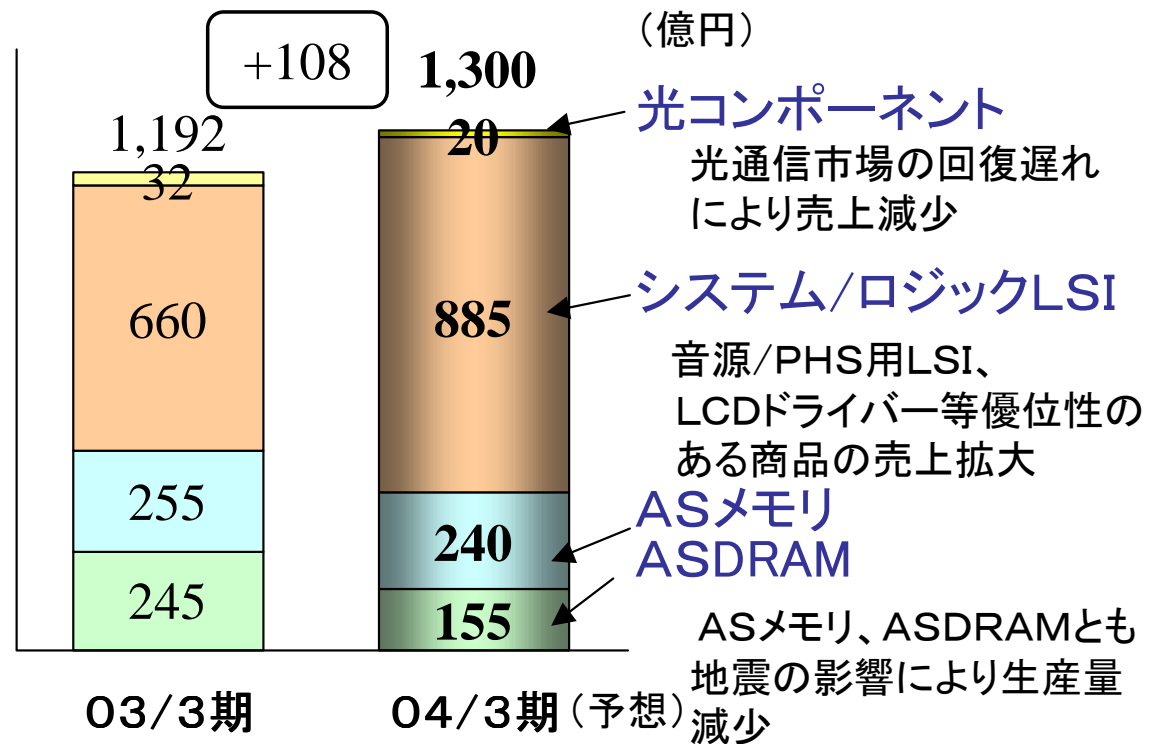
△56

△4

営業利益

+52

外部顧客向け売上高



03/3期

04/3期 (予想)

△9

10

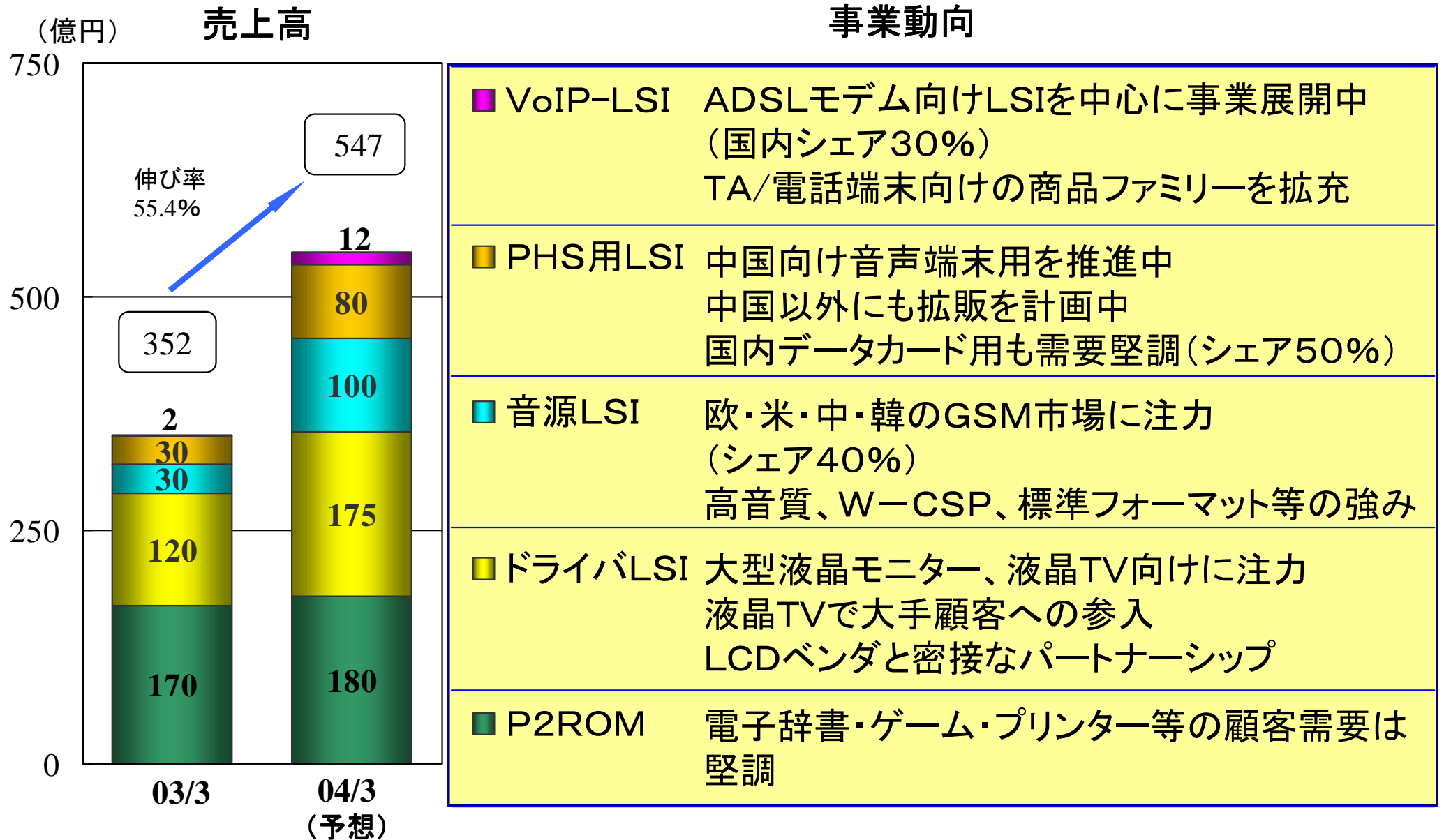
営業利益

+19

営業利益

東北地震被害(△30億)、
為替影響(△20億円)により
19億円の改善にとどまる

沖の特色あるLSI群のトレンド



- フリー・キャッシュ・フローは前年同期比 470億円の良化
- 04年3月償還予定の社債322億円は手元資金を充当

(金額単位:億円)

＜通期比較＞	03/3実績	04/3予想	増 減	備 考
営業キャッシュ・フロー	2	815	813	
税金等調整前当期純利益	△35	125	160	
減価償却費	399	370	△29	
運転資金の増減	△339	220	* 559	*たな卸+264、売上債権+226
その他	△23	100	123	
投資キャッシュ・フロー	43	△300	△343	
設備投資支払額	△236	* △250	△14	*今期設備投資額 300
その他投資活動	* 279	△50	△329	*芝浦・小金井の 土地建物売却収入263
フリー・キャッシュ・フロー(+)	45	515	470	
財務キャッシュ・フロー	△201	△400	△199	
社債償還	△227	△399	△172	
長短借入金等の増減	26	△1	△27	
キャッシュ・フロー計(+ +)	△156	115	271	
現金同等物等の期末残高	293	407	114	

P6.	CP	Commercial Paper
P12.	ATM	Automated Teller Machine
	LED	Light-Emitting Diode
P13.	IT	Information Technology
P14.	SIDM	Serial Impact Dot Matrix
	NIP	Non-Impact Printer
P15.	NW	Network
	IP	Internet Protocol
P16.	VoIP	Voice over Internet Protocol
	BB-IP	Broadband-Internet Protocol
	CTI	Computer Telephony Integration
	IP-VPN	Internet Protocol - Virtual Private Network
	IP-PBX	Internet Protocol - Private Branch eXchange
P17.	LSI	Large Scale Integrated circuit
	LCD	Liquid Crystal Display
	ASDRAM	Application Specific Dynamic Random Access Memory
	PHS	Personal Handyphone System
P18.	VoIP-LSI	Voice over Internet Protocol Large Scale Integrated circuit
	ADSL	Asymmetric Digital Subscriber Line
	TA	Terminal Adapter
	GSM	Global System for Mobile Communications
	W-CSP	Wafer level Chip Size Package
	P2ROM	Production Programmed Read Only Memory

※本資料における予想、見通し、計画等は、現時点における事業環境に基づくものであり、今後の事業環境の変化により実際の業績が異なる可能性があります。